

\*\*\*\*\*

"知らなきゃ損！？横軸ボール盤の知られざる魅力！！"

\*\*\*\*\*

## 第2回 モーターの有用性

モーターの有効性第一は「精度」です。

ダボ穴等の丸穴開け、ルーズテノン等の長穴開け共にかなりの高精度で加工可能です。モーターは材料をしっかりクランプで固定して加工を行う事と、位置決めストッパーを活用することでもたらされるものです。

勿論、移動精度の高さもあります。定盤又は、モーターの移動にはガタの無い高精度のスライドレールが用いられており、動きも軽く、作業もし易くなっています。

高精度の理由には他にも、モーターの回転数が3000rpm～5000rpmと比較的高く、木の目の影響を受けにくいということも、考えられます。

特に、材料の木端、木口からの深い穴開けには有効です。ボール盤を用いた場合、長い材料の木口は無理があり、又、木端に加工する場合は定盤に木端を乗せた状態で加工する為、どうしても材料の垂直と刃物の下降ラインの垂直が一致せず斜めに穴が開いてしまうことが多く、正確な加工は困難です。

モーターの場合は材料の四隅の角度の正確性に関係無く、刃物の軌跡と常に一致するように固定出来る為、正確に開けることが出来ます。

第二に、作業の早さです。ワンタッチで材料を強力に固定できるカムを用いたホールドダウンクランプと正確に軽く動くスライドの恩恵で快適に早く加工することができます。

各移動方向の位置決めストッパーも作業の早さに貢献します。同じ加工をある程度の数量行う場合、特に有効です。

第三に加工の多様性です。ボール盤で出来る加工もモーターの方が正確に、且つ早くできるものも数多く、又ハンドドリルとかハンドルーターを駆使すれば何とか出来るというものも、モーターであれば、正確に且つ早く出来るものが多数あります

次回はモーターの活用方法についてご説明したいと思います。

谷口清人氏  
ソリウッド・プロダクツ（株）代表取締役退任後  
手作り木工家具の木工房クラフソンを主宰